

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記

- 1: 意見及び異議受付期間は、令和5年3月22日～令和5年4月20日
- 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
- 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
- 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
1	JIS	改正	C8480	キャビネット形分電盤	Cabinet type distribution board	この規格は、需要家が構内に電気を分配するために用いる。主に電気設備技術の熟練者及び技能者が取り扱う分電盤であって、定格電圧600 V (対地電圧300 V) 以下、定格周波数50 Hz又は60 Hz、定格短時間耐電流35 kA以下及び基準定格電流630 A以下のもの、又は直流125 V以下及び基準定格電流200 A以下の電路に用いるキャビネット形分電盤について規定する。	<p>主な改正点は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“適用範囲”において、この規格の用途として“需要家が構内に電気を分配するために用いる”の記載を追加するとともに、直流の基準定格電流値を“50 A以下”から“200 A以下”に変更する。</li> <li>・“使用状態”の“標準使用状態”において、“標高”の規定を、高圧受電設備を規定したJIS C 4620と整合させて現行規格の“2 000 m以下”から“1 000 m以下”に変更する。</li> <li>・現行規格の分電盤の“種類”を“分類”に変更し、“構造”による分類を設け、また、材質区分の規定は削除する。</li> <li>・“接地”の“接地端子(台)の構造”及び“接地母線の構造”において、“ねじなし端子”の採用が一般的となっていることから、銅導体用端子台を規定したJIS C 8201-7-1に整合させた導体接続方法として、現行規格の“ねじ締端子(台)”に加えて“ねじなし端子(台)”を追加する。</li> <li>・施工の省力化、機器配置の多様性にとまない、盤内配線スペース(ガタースペース)の見直しを行う。</li> <li>・構造及び収納機器において、従来、絶縁電線の最小太さは600Vビニル絶縁電線(IV)のみを記載していたが、使用実態を踏まえ、600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(通称は、ME-IE)などを追加する。</li> </ul>			一般社団法人日本配電制御システム工業会	一般財団法人日本規格協会